

機能性食品のNASHへの効果

研究分野: 栄養学

キーワード: 非アルコール性脂肪肝炎、機能性食品

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 栄養健康学科 教授 大曲 勝久

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/omagari/>

研究概要

これまで慢性肝疾患の主な原因であったB型やC型肝炎ウイルスは近年の抗ウイルス薬の進歩により克服されつつある。一方で、全世界的な肥満や生活習慣病患者の増加に伴って、メタボリック症候群の肝臓での表現型と考えられる非アルコール性脂肪性肝疾患 (nonalcoholic fatty liver disease: NAFLD) の患者数が増加している。NAFLDは飲酒歴がなく(エタノール換算で男性30g/日、女性20g/日未満)、ウイルス性肝炎などの原因が明らかなものを除外した脂肪沈着を伴う肝疾患の総称である。NAFLDの10~25%は肝硬変に進行し、人々の健康な生活を脅かす可能性がある。

我々の研究室では、高脂肪・高コレステロール食投与による食餌誘導性の非アルコール性脂肪肝炎(NASH)ラットモデルを用いて、機能性食品を混餌することによるNASHに対する効果を検証している。

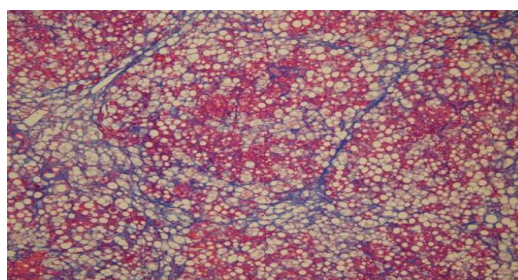
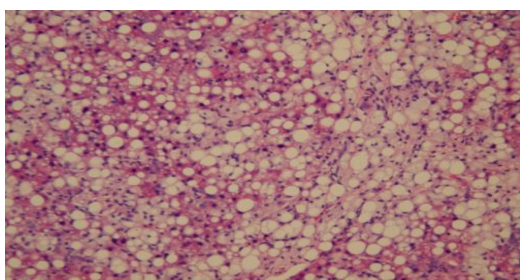


写真: コレステロール2.5重量%を含む高脂肪・高コレステロール食投与後の肝組織像

(左: HE染色、右: Azan染色)

産学連携の可能性(アピールポイント)

依頼に応じて検討する。

外部との連携実績等

なし。